

交通網の整備と生活の変化

- 本州と四国を結ぶ地図のXのルートをもとめて（**本州四国連絡橋**）とよぶ。
- 本州四国連絡橋が開通する前、瀬戸内海の島々に暮らす人のおもな交通手段は（**フェリー（船）**）であったが、橋が開通後、その航路が廃止されたり便数が減ったりして、生活が不便になった人もいる。

工業と農業

- 岡山県の水島や、山口県の岩国、周南などには、石油を原料とするさまざまな工場を築きつけた（**石油化学コンビナート**）が建設されている。
- 高知県の高知平野では、ビニールハウスなどを用いて野菜の生長を早める（**促成**）栽培がさかんで、夏野菜であるなすやピーマンを冬から春にかけて出荷している。
- 果物の栽培もさかんで（**愛媛**）県のかんきつ類、（**岡山**）県のマスカットや白桃などは、日本有数の生産をあげている。

観光客をよぶ取り組み

- 山間地域や離島では人口の流出がいちじるしく（**過疎**）化が進んでいる。若い人の流出が多いため、同時に（**高齢**）化も進んでいる。
- 島根県では、世界遺産の（**石見銀山**）が注目されたり、南北を結ぶ高速道路が開通したりして県外からの（**観光**）客も増加している。